

宇宙開発に見るリスク対応

～スペースシャトル事故と

日本のロケット連続失敗からの再起～



やまうらゆういち
山浦雄一さん

山浦技術経営士事務所 代表

筑波大学 客員教授

宇宙航空研究開発機構 元理事



日本のH3ロケット試験機が失敗した。だが、日本と米国はそれぞれ、H-IIロケット連続失敗('98年、'99年)、スペースシャトル空中分解事故('86年、'03年)という宇宙計画の根幹を揺るがす大失敗から再起を果している。日米に共通するのは、厳格な原因究明、根本的是正策の徹底、信頼回復への関係者一丸の取組みだ。これら失敗・事故で渦中にいた講師が、日米宇宙開発にあるリスク対応の本質を、技術、マネジメント、経営の側面から紹介。様々な事業や組織で活かせる知見が詰まった講演です。

令和5年5月27日(土)
午後2時～4時

会場：狛江市中央公民館 2階 講座室

定員：40名 受講料：200円（高校生以下無料）

★事前申し込みが必要です

★申し込み：令和5年5月1日(月) 午前10時より

(電話・窓口または右の二次元コードから WEB 申し込みで)

- ・コロナ状況次第で中止となる場合があります。
- ・当日は入口で検温をさせていただきます。



こまえ市民大学のページ



申込 WEB ページ

申し込み・問い合わせ：中央公民館 03-3488-4411 (休館日(第1・3火曜日、祝日)除く午前9時～午後5時)

主催：狛江市教育委員会 (狛江市立公民館) 企画・運営：こまえ市民大学運営委員会